泳ぐときは細心の注意を

～子供を水の事故から守ろう～

夏休み……海やプールはチビッ子たちでいっぱい。水しぶきの中で、どの顔も生き生きしています。

しかし、その反面、毎年ちょっとした不注意から、思いがけない悲しい事故が相次ぎます。

子供を水の事故から守るために、海やプールなどで泳ぐ場合は、十分注意しましょう。

出かけるとき

◇1人では絶対に泳ぎに行かせない……数人のグループか保護者が同伴するようにしましょう。

◇寝不足、空腹、疲労は水泳の大敵です……朝食はきちんと食べてから出かけましょう。また海水浴の前日は、睡眠を十分に取るよう気をつけましょう。

泳ぐ前に

◇泳ぐ前には、5分間以上かけて準備体操を行う……準備体操は、体全体を柔かくするほか内臓機関の働きを高め、心臓マヒなどの防止にもなります。

◇水に入るときは、足、手顔、頭といった順序で、心臓に遠いところから水につける……水に入ったら、しばらく軽い泳ぎでウォーミング・アップをし、体がほぐれ水に慣れてきてから本格的に泳ぎましょう。

泳いでいるとき

◇子供の場合、1回の泳ぐ時間は15～20分ぐらいが限度です……楽しいからと、長時間ダラダラと泳ぐのは禁物。唇の色、顔の表情、話し方、態度などを十分に注意しましょう。

◇泳げない子供は、浅瀬で遊ぶぐらいにしよう……友だち同士の競争で、無理をして泳ぎ、大きな事故になることがあります。

粗大ゴミを収集します

市では、年四回ある第五水曜日を「粗大ゴミ収集日」と定め、この八月から二地区に分けて収集することにしました。

◆収集する粗大ゴミは

冷蔵庫、テレビ、洗濯機、自転車、ベット、ソファー、タンス、机など、収集作業員二名で収集車に積み込める程度のものであること。

◆粗大ゴミの収集日は

・58年8月31日・59年2月29日

大館地区全部、根下戸、小館花、萩野台、美園町、片山町、片山三丁目、片山アパート、天神緑町

・58年11月30日、59年5月30日

前記以外の地区

◆粗大ゴミの出し方は

「粗大ゴミ集荷票」を一世帯につき年二枚交付します。この集荷票に住所、氏名を記入し、粗大ゴミの見える所に貼ってください。

◆急ぎの場合は

引越しなどにより、どうしても収集日まで待てず急いで処理したいときは、有料になりますが、自分で直接処理施設に運ぶか、市で許可している次の業者に運搬を依頼してください。

近江商店 ☎42－7360

大館地区清掃センター ☎42－5550

大館広域清掃 ☎49－0455

◆収集しない物は

・ガスボンベ、火薬など爆発や破裂の恐れがあるもの

・廃油や薬品などを含む、公害の原因となる恐れがあるもの

・動物の死体

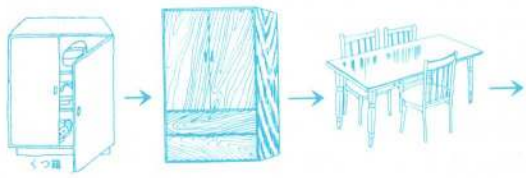
・コンクリートやガレキなど

・古タイヤ

・その他法律で産業廃棄物として分類されているもの

◆ゴミ収集の問合せは

市役所清掃課☎42－2169



出稼者の安全就労推進集会

市では、出稼ぎをしている方々の安全就労を図るため、次により「出稼労働者安全就労推進集会」を開きます。

対象・出稼ぎをしていて現在帰省中の方やこれから出稼ぎをしようとする方

とき・8月15日(日)午後2時30分から

ところ・中央公民館

内容・出稼互助会、雇用保険、労働災害などの指導

問合せ・市役所市民生活課☎49－3111内線213

市長の対話ノート

日本語を大切に

No. 72

今年の老壮大学での出来事でしたが、「自分でも理解していないで、他人にもわからない外国語をやたらに使うことはやめてほしい」と。

昭和ひと桁生れの私も、横文字に極めて弱い一人として同感です。

本当に日本語を知り、外国語を使いこなせる人であれば、聞くのも、読むのも抵抗なく受け入れてくれるでしょうが、そうでない方が多いのではないでしょうか。

ますます進む国際化時代、情報化時代ですから、知識として外国語を知り、使いこなすことは大切です。しかし、更に大切なことは、社会人として、社会生活上の出発は、どう自分の意志を正確に相手に伝えるか、逆に相手の意志を正しく受けとるかです。

そこに不足があったり、誤解が生ずることは不幸のはじまりでしょう。しかも、その伝達方法の大部分は「ことば」であるからです。

とかく乱れがちと言われる日本語を、乱すことなく、正しく知り、使うことこそ原点です。日本語を正しく知ればこそ、外国語も正しく知り、使いこなすことができるでしょう。

子供たちの英語教育も結構ですが、母国語を失うようなことであればと、心配する一人であります。

畠山健治郎